

【声明】

ヒバクシャと核兵器廃絶を願う世界の人々への冒涇 トランプ米大統領による核実験称賛発言に抗議する

2020年7月21日

核戦争に反対する医師の会（反核医師の会）

代表世話人会

さる7月16日、トランプ米大統領は、米西部ニューメキシコ州アラモゴード近郊の「トリニティ・サイト」で人類史上初の核実験を行ってから75年を迎えたのに合わせて声明を発表し、核実験を「素晴らしい偉業」と称賛しました。また、核実験に関して「第二次大戦の終結を促し、世界の安定、科学の革新、経済的繁栄の時代を切り開いた」「核抑止力は米国や同盟国に大きな利益をもたらした」と発言しました。

こうした発言に被爆者はもちろんのこと、世界の核兵器廃絶を願う人々から、失望と怒りの声が巻き起こっています。

1945年7月の核実験は、ドイツとイタリアの降伏、日本の戦力もほとんどない敗戦目前という状況下で行われたものであり、原爆投下は、世界大戦後の覇権争いで優位にたつためであり、また、核兵器の威力をみるために21万人もの人々を犠牲にした大量殺戮、人体実験ともいえるものです。

また、第二次世界大戦後の核軍拡競争は、「世界の安定」どころか人類を滅亡の恐怖に陥れ、「経済的繁栄」とは真逆の人類史的成本の無駄遣いと環境破壊につながっています。

新型コロナウイルスによる感染拡大でも、これまで公衆衛生をはじめとした感染対策をないがしろにし、軍拡競争に明け暮れてきたことで人類への警鐘がならされています。そして、その影響を最も受けているのがアメリカです。

核兵器の開発には、2019年だけでも世界で約731億ドル（約8兆円）、その約半分の約350億ドル（約3.8兆円）をアメリカが占めるとされています。また、世界の軍事費も2019年だけで、約1兆9,000億ドル（約209兆円）、アメリカだけで約7,320億ドル（約80兆円）もの巨額が投資されています。その一方で富と貧困の経済的格差が顕著に表れ、新型コロナウイルス感染症による多くの犠牲者をだしています。

また、「核抑止力」では、核戦争を抑止できないことは明らかです。核兵器をなくすことこそで人類は核戦争の恐怖から逃れることができます。

核兵器禁止条約の批准国が40を超え、その発効までカウントダウンに入りました。国連憲章に基づく平和と軍縮、核兵器廃絶に向けた世界の取り組みがすすめられています。そうした下での今回の発言は、ヒバクシャと世界の核兵器廃絶を求める人々を冒涇するものです。

私たち核戦争に反対する医師の会（反核医師の会）は、唯一の戦争被爆国の医師・歯科医師として、生命と健康を守る立場から、今回のトランプ米大統領の発言は、決して許すことができず、断固抗議します。トランプ米大統領は、発言を撤回し、世界に向けて謝罪をすべきです。